

Rotary

IMAGINE
ROTARY「変化する時代にこそ、変わらない絆づくりを」
2022～2023年度 ジェニファー・ジョーンズ RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2022年9月1日(3427例会)(創立71周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3341

■呉RC 2022～2023年度テーマ 「変化する時代にこそ、変わらない絆づくりを」

| | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|--------|-----------|
| 会 長 | 増 岡 真 一 | 幹 事 | 中 崎 誠 | 会長エレクト | 大 上 功 |
| 副 会 長 | 太 刀 掛 祐 之 | 会 計 | 和 田 昭 | 会場監督 | 中 河 原 圭 司 |
| 直前会長 | 福 田 多 喜 二 | | | | |

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
 呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
 ☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
 E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

次週のメインプログラム

広報・クラブ週報委員会 担当例会

「会員企業の広報への取組」

宇都宮 公徳 君

志々田 幸治 君

新会員卓話

谷口 好朗 君

第 3426 例会記録【8月25日(木)】

【プログラム】 ◇石川良興ガバナー公式訪問

ガバナー信条と地区重点方針「人生100年時代に向けて、健康寿命を延ばそう」～がん・生活習慣病の予防～について、2022-2023 RI会長テーマ「IMAGINE ROTARY」の補足説明から具体的な行動計画(①健康寿命を延伸することにより②5大奉仕と7つの重点分野を遂行し③そのために必要な財団支援を行い④社会に貢献し、会員自身の成長と会員相互の親睦を育み⑤ロータリーの公共イメージを高め⑥ロータリーが広く認識されることにより会員の増強を図る)まで、細部にわたり濃密な卓話を頂きました。

石川ガバナーよりご指導賜りました「国際ロータリーの活動指針であるDEIについて、各クラブに合った意識改革と問題点をIMAGINEして実行」すべく、しっかりと取り組んで参りましょう。

【出席率】 前々回 休会 今回 76.12% (会員72名・欠席16名・免除5名)

【来客】 ◇国際ロータリー第2710地区 ガバナー 石川 良興様 (徳山ロータリークラブ)

◇国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 福谷 正道 様 (徳山ロータリークラブ)

◇国際ロータリー第2710地区グループ8 ガバナー補佐 廣幡 勝祐 様 (西条ロータリークラブ)

◇国際ロータリー第2710地区グループ8 ガバナー補佐幹事 安本 政基 様(西条ロータリークラブ)

◇2022年度海外学友会推薦ロータリー米山奨学生 李 正薫 様

【他クラブ出席者】 ◇海生(知)君(8/20北海道2500Eクラブ) 山本・長行事君(8/24呉東) 住田君(8/25北海道2500Eクラブ) 4名

【欠席者】 ◇稲葉・岩本・大石・大塩・岡本(淳)・奥原・海生(知)・神田(朗)・佐藤・下瀬・住田・太刀掛・長行事・寺坂・平野・堀口君 16名

【出席免除者】 ◇大矢・奥川・海生(孝)・武田(信)・三木君 5名

【会長報告】 ◇増岡会長より歓迎挨拶

はじめに、ご来訪に際し石川ガバナーより今期のイマジンロータリーのロゴをデザインされた素敵なバナーを頂戴しました。ありがとうございます、大切にさせていただきます。

昨年にも計画しておりました公式訪問の合同開催ですが、まん延防止等措置により実施できず、今回は初の試みとなります。

コロナ禍により様々な活動が制限される中、呉東RCのテーマは「進化の準備を始めよう！」呉RCは「変化する時代にこそ、変わらない絆づくりを」と表現は異なりますが、両クラブとも委員会活動、例会、親睦など、制限される活動を再活性化して、財団支援、公共イメージ向上、会員増強といった好循環に繋げていくという改善ができれば、と考えております。

石川ガバナーからは「IMAGINE(想像)をもって、未来に向け大きな夢と希望を持ち、小さなこと、できることから挑戦していきましょう。」と大きな励ましのお言葉も頂きました。引き続きご指導いただければ、と考えております。

お忙しい中、来訪いただきました石川ガバナーはじめ福谷地区代表幹事、廣幡ガバナー補佐、安本ガバナー補佐幹事ならびに参加会員の皆様にとって、良き一年となりますことをIMAGINEしながら歓迎の挨拶とさせていただきます。

【幹事報告】 ◇(公財)ロータリー米山梅吉記念館…館報 秋号 Vol.40

…賛助会員ご入会のお願い。

…9/17(土)14:00～ 於:米山梅吉記念館ホール 秋季例祭を開催

私の仕事と職業奉仕



成瀬 友之

2001年に大学を卒業し、証券業界に飛び込んだ時期は金融機関の護送船団方式を改革させる「金融ビッグバン」の過渡期でした。各金融業界が変化を求められるなか「間接金融から直接金融へ」の標語に惹かれ証券業界に身を投じてから21年の年月が流れました。この期間、たしかに少しずつではありますが直接金融は進み、特に最近では金融業界誌以外の広告媒体やSNSでも投資について目に触れる機会は増えてきたように思います。

私が職業奉仕について考えるとき、まず思い浮かぶのは国策です。証券会社の役割は投資家と投資先を直接繋ぐことですが、他の先進諸国に比べて我が国の直接金融は遅々として進んでいません。日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較（2021年8月20日）」によると、我が国の家計金融資産は1,946兆円ですが、うち株式は10.0%で投資信託は4.3%です。増加傾向にはあるものの、ここ数年この比率に大きな変化はありません。これに対し投資先進国である米国の家計金融資産は109.6兆ドル、株式37.8%、投資信託13.2%です。分かりやすい数字にすると、人口約1億2,000万人の我が国の家計で投資に振り向けている金額は約278兆円であるのに対し、人口約3億3,000万人の米国の家計で投資に振り向けている金額は約7,500兆円となります。人口では約2.7倍ですが投資資産は約27倍もの差があることが分かります。円安やインフレによる国民所得が議論となる昨今、この状況が変化するに

は国民全体の金融リテラシー向上がカギになると、入社間もない頃から思っていました。

現政権も「資産所得倍增計画」を掲げ、給与所得上昇と併せて有価証券の配当所得等を得られるよう、投資家層の裾野拡大に旗を振りました。これに呼応し日本証券業協会においても、現在我が国で有価証券を保有する国民は2割にとどまっている現状を変え「1億総投資家」を目指すべき姿とし、緊急提言をしています。

投資家と投資先を直接繋ぎ、投資家にはリターンを、投資先には成長を促進することが私の職業奉仕であると思います。また投資家の裾野を拡大するという社会的使命において、これから投資について考える人や投資のアドバイスを必要とする方々に無償で相談やお話しをすることが私の社会奉仕であると、呉ロータリークラブの勉強会で自覚することができました。4月から高校教育の家庭科で資産形成の視点に触れる規定がなされ、漸く我が国も投資教育の第一歩を踏み出しました。これからは資産運用に関わる知識を広く伝えていくことが重要になってくると思います。

弊社の綱領は「知識産業人として 社会に貢献し 愛と調和の中に 創造性と革新性を高め 豊かな会社にしよう」です。社歴が20年を超えたいま、まさに知識産業人として社会に貢献できるよう精進してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。